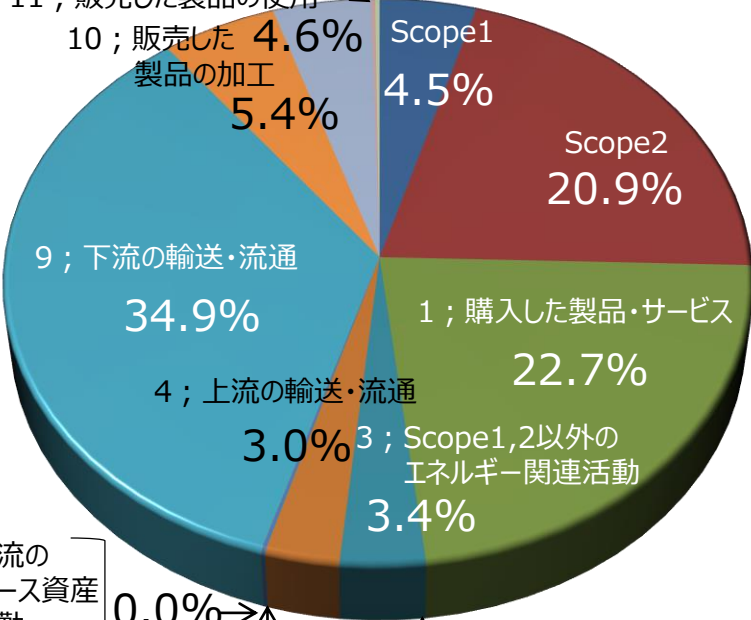
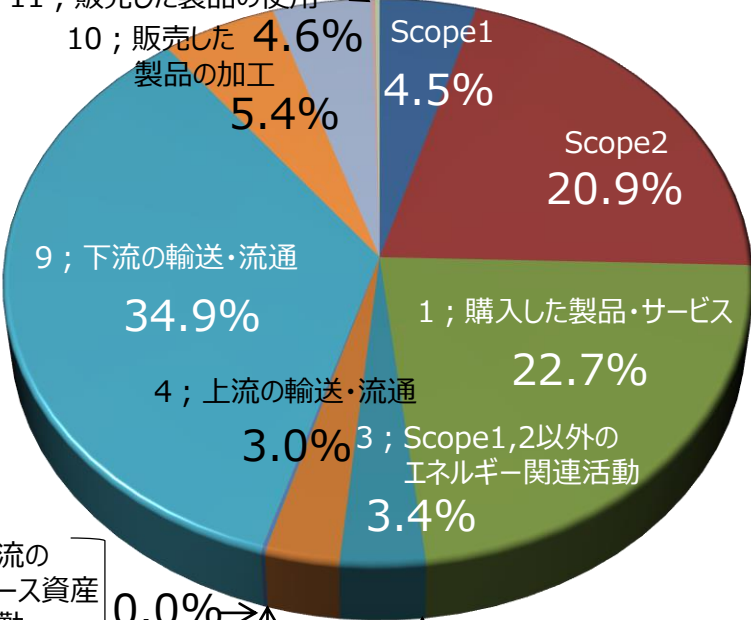


# 株式会社ニチレイ

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種：食品製造業</li> <li>● 事業概要：加工食品事業、水産事業、畜産事業、低温物流事業、不動産事業、その他の事業</li> <li>● 事業規模[任意]：            (売上高) 5,397億円 (2017年3月期) (連結)            (従業員) 14,682名 (2017年3月末) (連結)</li> </ul>
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p>&lt;Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;            GHG排出量(Scope1・2); 2018年度末迄に2.3%削減(2015年比)            ※国内事業所及び車両所有で使用するエネルギー</p> <p>&lt;Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;            ・Scope3の削減目標は未策定            ・バリューチェーン排出量削減についての重要性は認識。</p>

## 株式会社ニチレイ

項目	内容																																	
3.基準年のGHGインベントリ [数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況 (※割合は必須、グラフを挿入)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1※： 43,597[tCO<sub>2</sub>]</li> </ul>																																
	<p style="text-align: center;"><b>ニチレイグループGHG排出量[CO<sub>2</sub>e-t](2016年度)</b> <b>&lt;Scope1・2・3&gt;</b></p>  <table border="1"> <caption>ニチレイグループGHG排出量[CO<sub>2</sub>e-t](2016年度) &lt;Scope1・2・3&gt;</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>13; 下流のリース資産</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>12; 販売した製品の廃棄</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>11; 販売した製品の使用</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>10; 販売した製品の加工</td><td>4.6%</td></tr> <tr><td>9; 下流の輸送・流通</td><td>34.9%</td></tr> <tr><td>8; 上流のリース資産</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>7; 通勤</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>6; 出張</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>5; 廃棄物</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>4; 上流の輸送・流通</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>3; Scope1,2以外のエネルギー関連活動</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>2; 資本財</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>1; 購入した製品・サービス</td><td>22.7%</td></tr> <tr><td>Scope1</td><td>4.5%</td></tr> <tr><td>Scope2</td><td>20.9%</td></tr> </tbody> </table>	項目	割合	13; 下流のリース資産	0.2%	12; 販売した製品の廃棄	0.2%	11; 販売した製品の使用	0.0%	10; 販売した製品の加工	4.6%	9; 下流の輸送・流通	34.9%	8; 上流のリース資産	0.0%	7; 通勤	0.0%	6; 出張	0.0%	5; 廃棄物	0.2%	4; 上流の輸送・流通	3.0%	3; Scope1,2以外のエネルギー関連活動	3.4%	2; 資本財	0.0%	1; 購入した製品・サービス	22.7%	Scope1	4.5%	Scope2	20.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2※： 240,306[tCO<sub>2</sub>]</li> </ul>
	項目	割合																																
13; 下流のリース資産	0.2%																																	
12; 販売した製品の廃棄	0.2%																																	
11; 販売した製品の使用	0.0%																																	
10; 販売した製品の加工	4.6%																																	
9; 下流の輸送・流通	34.9%																																	
8; 上流のリース資産	0.0%																																	
7; 通勤	0.0%																																	
6; 出張	0.0%																																	
5; 廃棄物	0.2%																																	
4; 上流の輸送・流通	3.0%																																	
3; Scope1,2以外のエネルギー関連活動	3.4%																																	
2; 資本財	0.0%																																	
1; 購入した製品・サービス	22.7%																																	
Scope1	4.5%																																	
Scope2	20.9%																																	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3※※： 678,301[tCO<sub>2</sub>] (概算値)</li> </ul> <p>目標の対象セクター： 対象セクターについては削減手法含め、目下検討中</p>																																	

※ CDP気候変動(2017)報告値・マーケット基準算定、※※現状把握可能な活動量データをもとに算出した概算値

# 株式会社ニチレイ

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"><li>● 気候変動により、将来原材料調達先(地域)を変更する可能性がある。</li><li>● 自社やサプライヤーの省エネ活動が推進されることで、生産時や調達時のエネルギーコスト削減につながる可能性がある。また、外部企業評価の向上にも繋がる可能性がある。</li></ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2018年度に策定する中期・長期環境目標は、SBT目標の要件を参考にする。将来、SBT認定を受けることも視野に入れ、取り進める。</li></ul>

# 株式会社ニチレイ

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● SBT目標の概要など、当社取締役が出席するグループ環境保全委員会で周知し、社内における理解度向上に努める。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● 今後、目標設定にあたり、SBT目標の範囲を意識すること。</li><li>● 企業成長と排出量削減の両立。</li></ul>